

令和7年度 第1回地域授業改善協議会<竹田教育事務所管内>

令和7年5月22日(木) 豊後大野市緒方公民館

各学校の教務主任(研究主任)の先生方を対象に、
「新大分スタンダードにおける習熟の程度に応じた指導を意識した授業改善」についての研修を行いました。

<講義テーマ>

「困りが見えにくい子どもたちの理解」～特別支援教育の視点から～

<講師> 竹田支援学校 佐藤 いつか 氏

講義

特別支援教育の視点から困りのある児童生徒
に対する理解と困りの解決に向けた手立てに
ついて考える

困りが見えにくい 子どもたちの理解

～特別支援教育の視点から～

竹田支援学校 特別支援教育コーディネーター
佐藤 いつか

困りが見えにくい子どもたち

特別支援教育が必要な児童・生徒

特別支援教育の視点から、
子どもたちの困りの状況を
把握する方法や困りの状
況を踏まえた適切な指導
法について学習しました。

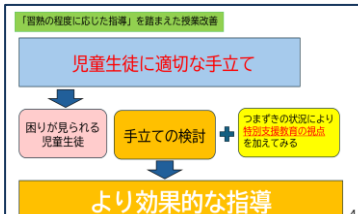
【講義】



説明

「新大分スタンダード」における習熟の程度
に応じた指導を意識した授業改善について

「新大分スタンダード」の習
熟の程度に応じた指導をも
とに、困りのある児童生徒に
対しての具体的な手立てに
ついて確認をしました。



<協議テーマ>

「習熟の程度に応じた指導の実際」

<協議の流れ>

- ① 各ケースにおける原因と手立ての検討
- ② グループで共有
- ③ 協議(人材育成の視点から各学校でできること)
- ④ 全体共有

協議

困りのある児童生徒の状況把握および授業における手立ての検討、
授業に困りがある経験年数の浅い先生に教務主任としてできること



①② 原因と手立ての検討と共有

いくつかの困りの場面を設定し、子どもの困りの原因
をもとに、授業における最
適な手立ての検討を行いま
した。

ミドルリーダーとして「人材
育成の視点から今後各学
校でできること」について、
グループで考えを共有しま
した。



③ 協議



④ 全体共有

「人材育成の視点から今後
各学校でできること」につ
いて、全体で共有しました。
教務主任としての役割や体
制づくりについて改めて考え
ました。

【参加者の感想】(一部抜粋)

- ・子どもたちの行動の表面だけでは見えない困りに寄り添い、子どもたちが困らなくてすむ環境をつくれるようにまずは、特別支援教育の立場から子どもをしっかり理解していきたいと思います。
- ・協議の中で、困りを抱えている子どもの背景について考えを出し合うなど、有意義な時間になりました。特に、困りを抱えている教職員にどんなアドバイスをするかなど、教務主任として今後でもできることを精一杯やっていこうと思います。